

株式会社 カッシーナ・イクスシー

2004年度 中間決算説明会資料

2004年 8月26日

INDEX

2004年度中間決算概要	3P - 10P
今期の戦略	12P - 15P
ご参考資料	17P - 19P

Cassina
IXC.

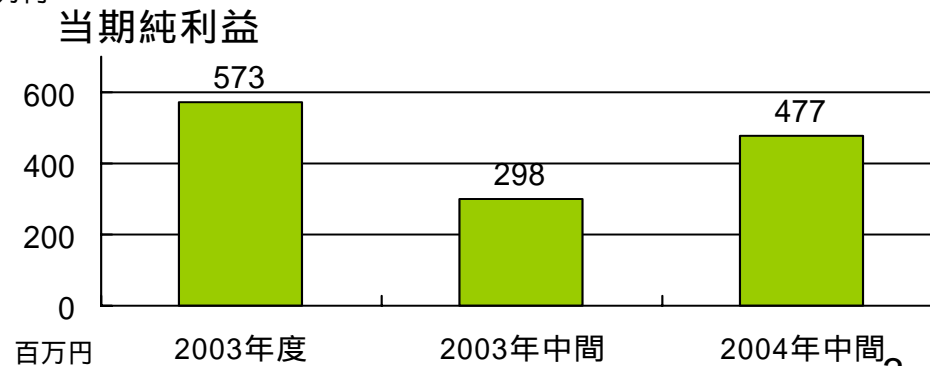
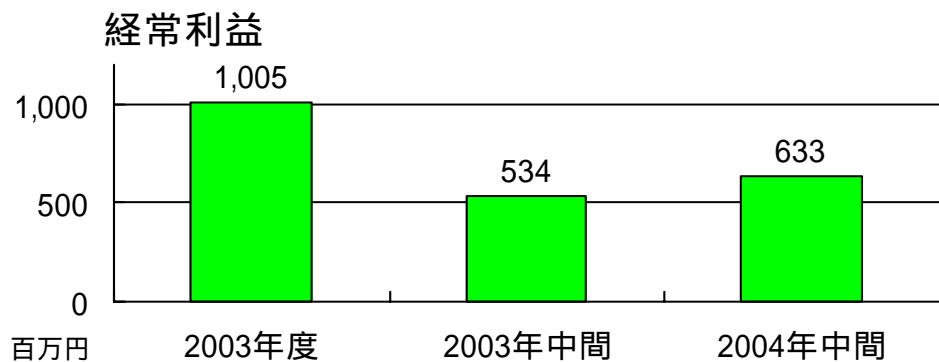
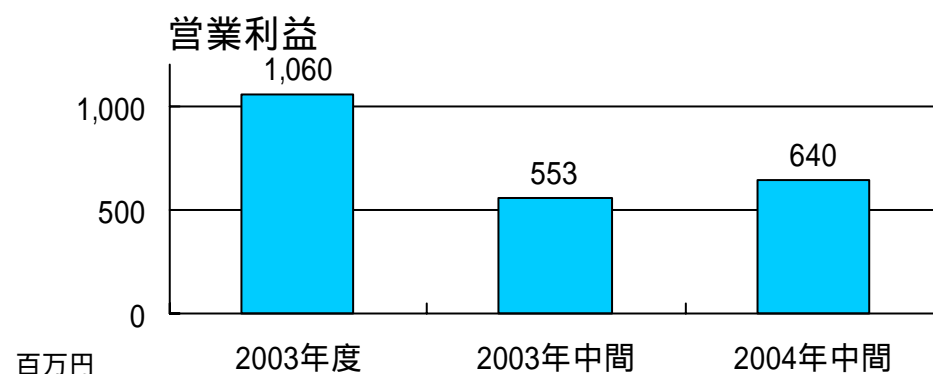
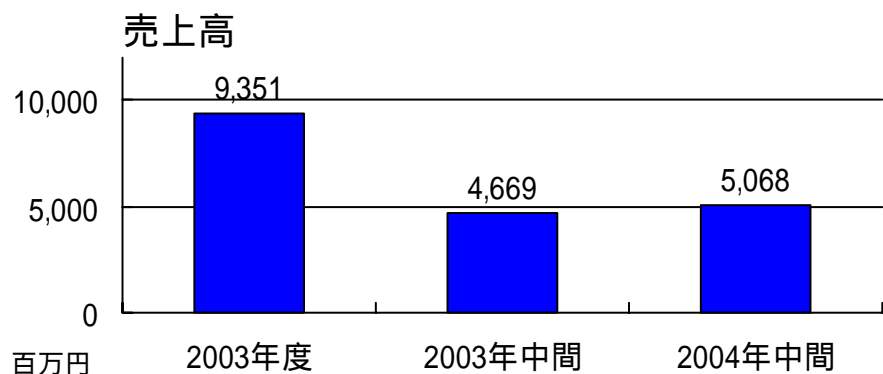


2004年度 中間決算

2004年度中間決算概要(連結)

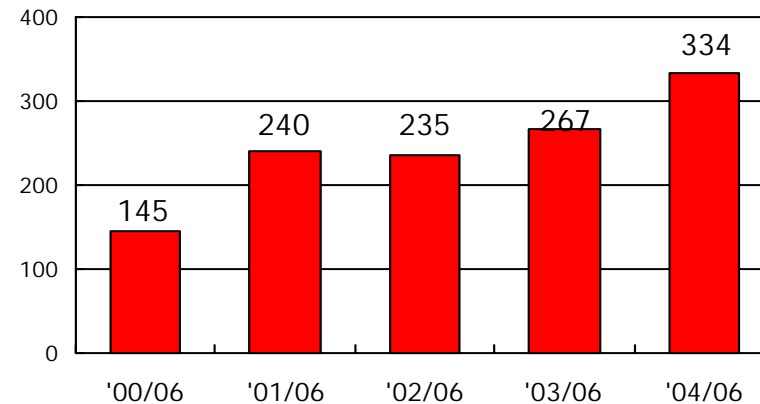
(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	総資産	純資産	自己資本比率
2004年中間	5,068	640	633	477	8,039	3,543	44.1%
2003年中間	4,669	553	534	298	7,621	2,288	30.0%
前年同期比	+8.5%	+15.8%	+18.4%	+60.2%	+5.5%	+54.8%	



2004年度中間業績概要(連結)

1. 既存商品の売上伸張 ……商品のライフサイクルが長い マラルンガ(CASSINA ソファ)の売上推移(1973年デザイン・発売)



(百万円)

2. 新商品開発 ……新商品の売上の積み増しによる全体的な売上増

EAST by EASTWEST ……比較的手頃な価格帯でモダンデザインに東洋の美意識を融合させたデザインの商品群(2003年秋より販売開始)

発売以来の売上実績

2003年度(9月～12月) …… 25百万円

2004年中間(1～6月) …… 105百万円

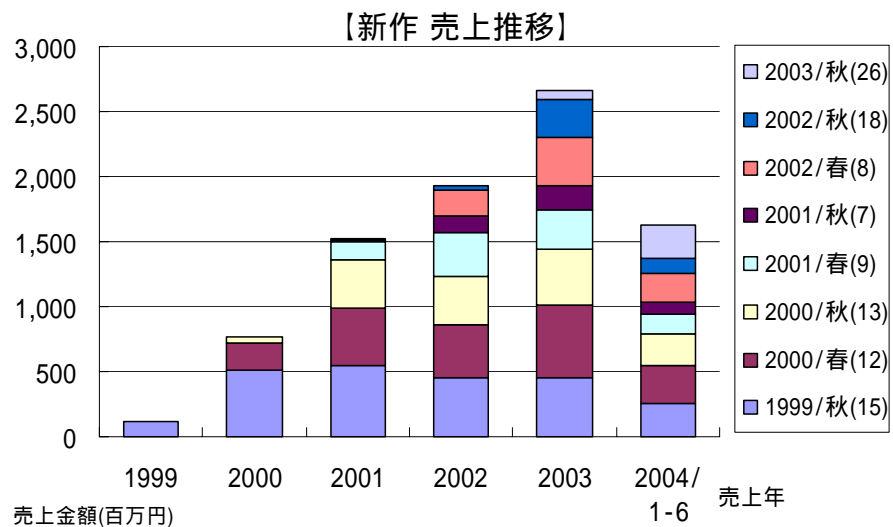
2004年度予算 200百万円

2004年秋の新作として新たに9アイテムを投入予定



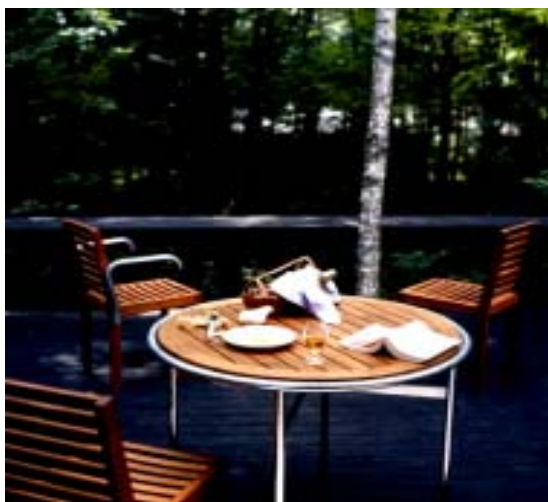
2004年度中間業績概要(連結)

各年における新商品の売上推移



各年に販売開始した商品数

年	新作数	主な商品名
99年	15	リーガチークス、L15XEN
00年	25	MAKE UP、BOXソファ
01年	16	カトリーヌ・メミ、 BOOMERANG
02年	26	ROLLING FRAME、 POSITION
03年	26	EbEW、364ALIAN



リーガチークス (IXC - EDITION)



MAKE UP (IXC - EDITION)



ROLLING FRAME (IXC)



364ALIAN (Cassina)

2004年度中間業績概要(連結)

3. 店舗の増床、新設

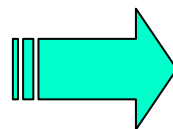
青山本店改装(2004年2月)

日本橋高島屋本店コーナー出店(2004年3月)

大阪梅田阪急 イクスシーコーナー展開(2004年4月)



青山本店
改装前



改装後

4. インテリアに対する意識の高まり、価値観の変化

デザイン性を重視する業種をはじめとして、国立大学などにおいても導入



今後他社、他校との差別化を図るため、ますます導入事例は増加傾向

2004年度上期における法人・学校等の主要顧客 (単位:百万円)

日産自動車56 トヨタ自動車グループ12 サントリー-7 森ビル18

京都大20 大阪大30 名古屋大12 筑波大20 早稲田大25 西南学院大10 など

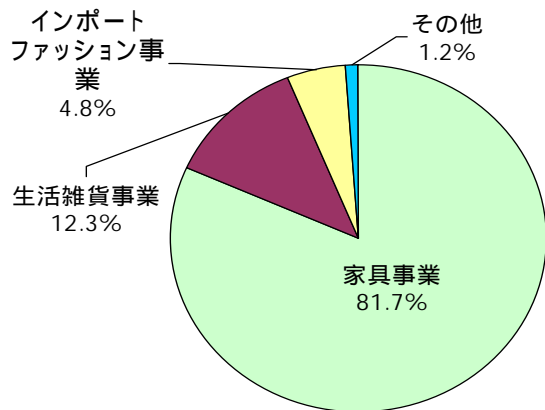
当社のビジネス、商品に対する関心度は個人のみならず大手法人にも波及

セグメント別構成比(連結)

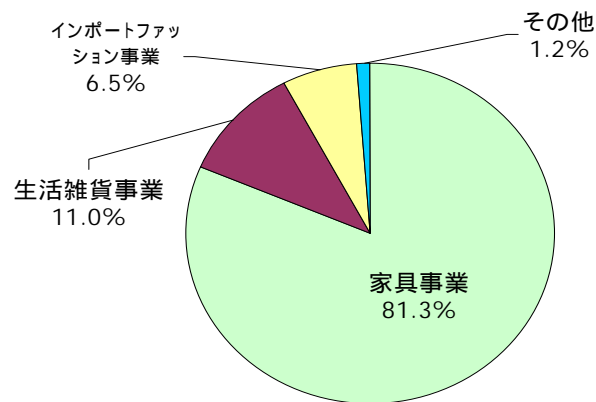
(百万円)

	2004年度中間	2003年度	2003年度中間	前年同期比
売上高	5,068	9,351	4,669	+8.5%
家具事業	4,122	7,528	3,814	+8.1%
生活雑貨事業	556	1,149	571	2.7%
インポートファッション事業	327	554	226	+44.8%
その他	62	118	56	+9.2%
営業利益	640	1,060	553	+15.8%
家具事業	785	1,266	678	+15.8%
生活雑貨事業	3	44	12	71.6%
インポートファッション事業	16	1	6	-
その他	21	36	15	+38.3%
消去または全社	(146)	(288)	(153)	4.8%

【2003年中間期 売上構成比】



【2004年中間期 売上構成比】

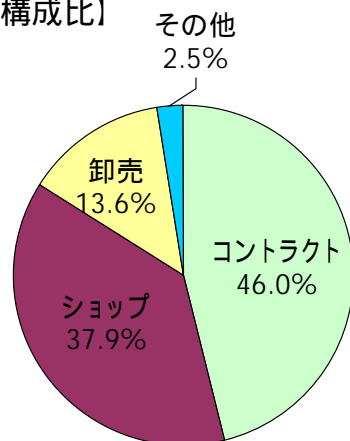


販路別構成比(単体)

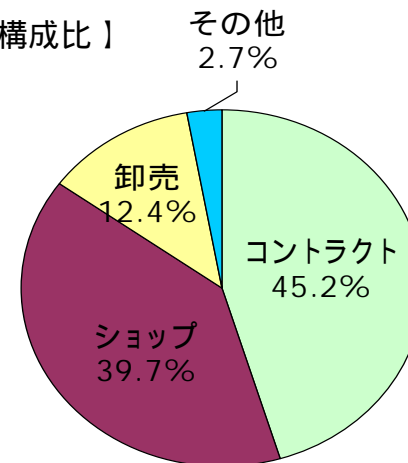
(百万円)

	2004年度中間期	2003年度	2003年度中間期	前年同期比
売上高	4,739	8,790	4,440	+6.7%
コントラクト事業部	2,144	3,900	2,045	+4.8%
ショップ事業部	1,880	3,261	1,680	+11.9%
WS事業部	588	1,460	605	2.8%
その他	126	167	108	+16.7%
売上総利益	2,491	4,529	2,287	+8.9%
コントラクト事業部	1,087	1,979	1,043	+4.2%
ショップ事業部	1,065	1,862	960	+10.9%
WS事業部	262	657	252	+3.8%
その他	76	29	31	+142.4%

【2003年中間期 売上構成比】



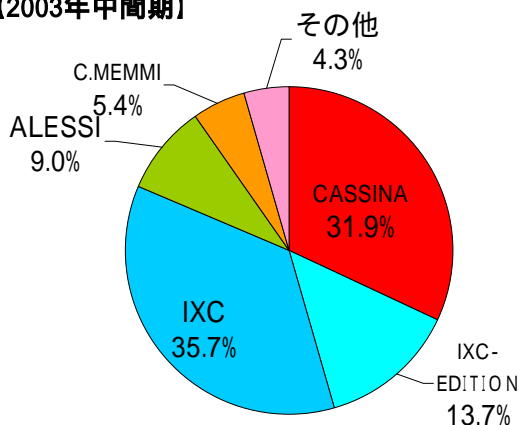
【2004年中間期 売上構成比】



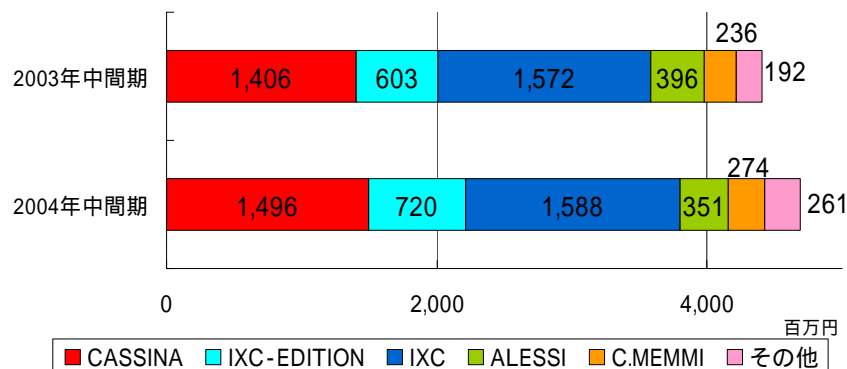
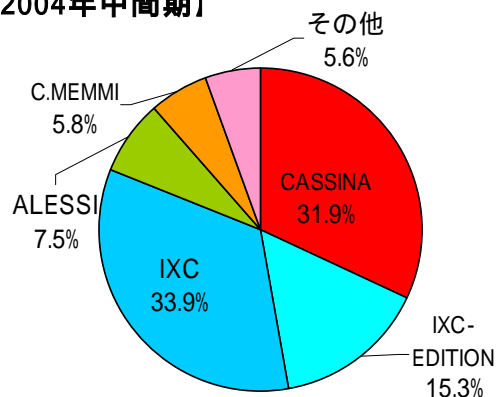
ブランド別構成比・輸入国産比率(単体)

ブランド別構成比

【2003年中間期】

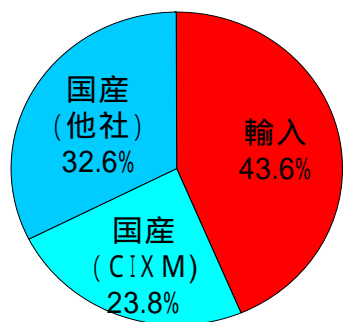


【2004年中間期】

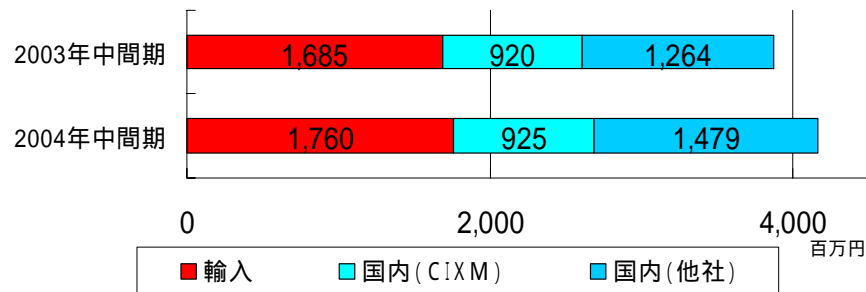
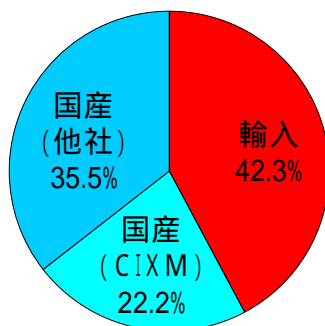


輸入国産比率(家具のみ)

2003年中間期輸入国産比率

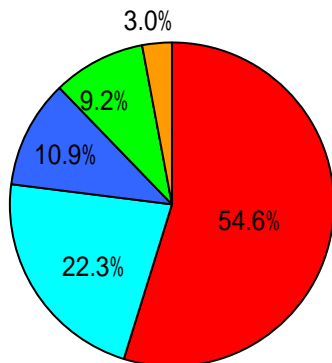


2004年中間期輸入国産比率

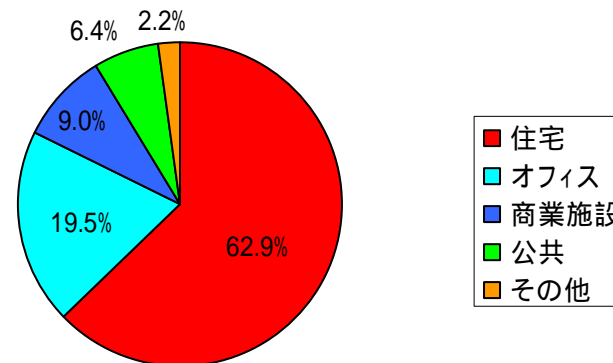


販路別・家具納品先別構成比(単体)

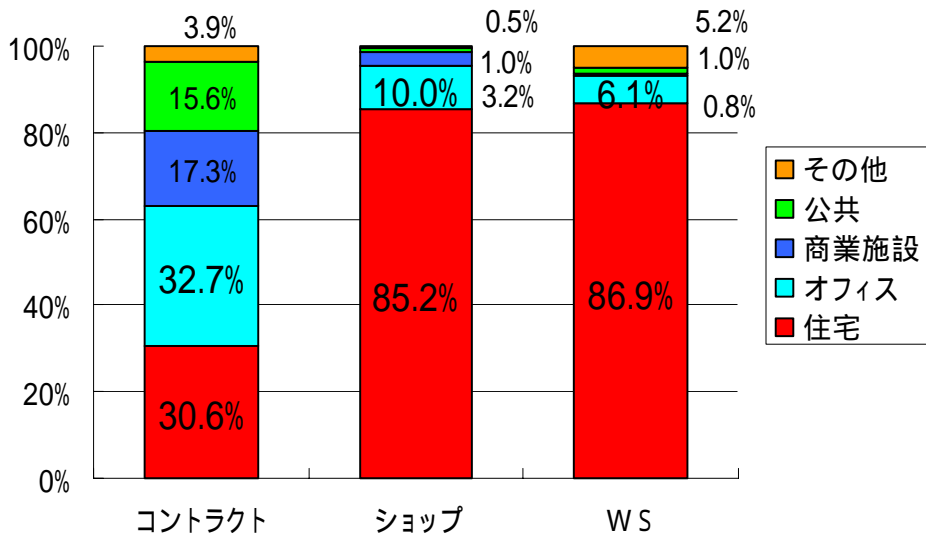
2003年中間期実績 (家具売上3,814百万円)



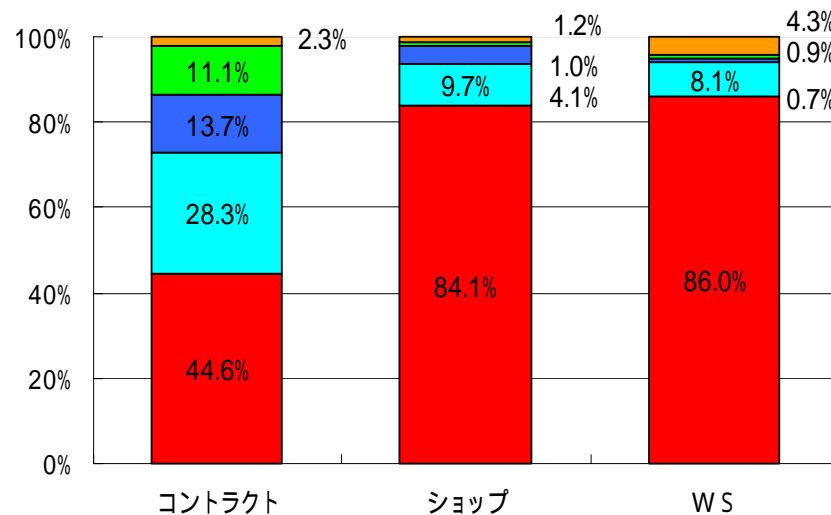
2004年中間期実績 (家具売上4,122百万円)



販路別 2003年中間期実績



販路別 2004年中間期実績

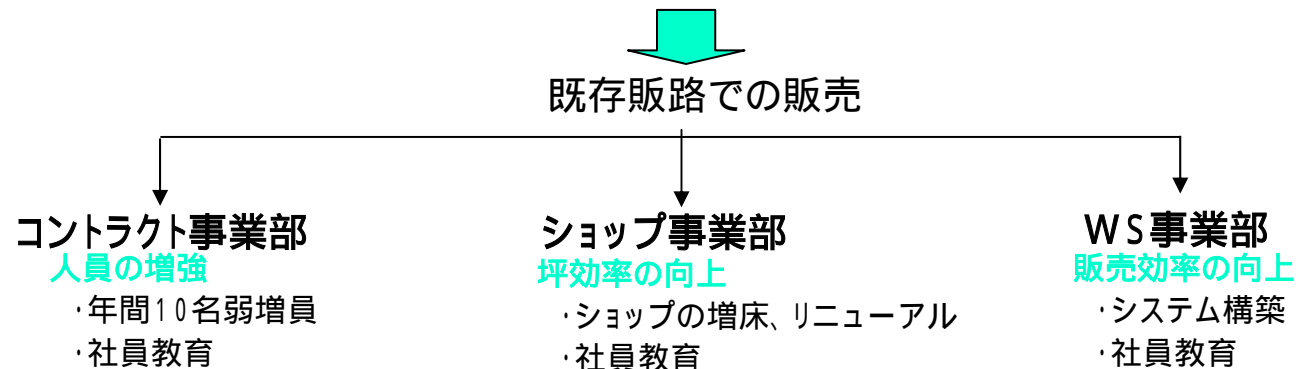


今期の戦略

2004年度(今期)経営戦略

1. 商品開発

メーカー的発想による、魅力的な商品の開発、デザイン提案



2. 店舗戦略

青山本店改装(外装、1F、3Fの一部)・・・2月実施済み
名古屋店増床(増床規模 300㎡)・・・9月下旬営業開始予定
アレッシィショップ青山・・・1階内装及び外観の改装 9月3日オープン予定

3. 海外戦略

ミラノサローネ(イタリアでの家具展示会)への自社開発商品の出展
海外における、当社デザインの提案の第一歩
⇒ 現在数社よりオファーはあるが、急激な売上の増加は見込めない。

4. 販売方法の多様化

リース&リユース導入による販売
⇒ 販売方法の多様化、エコロジーへの対応推進
マンションデベロッパー、商業施設などの顧客により順調に成約。(売上高28百万円)



リースによるモデルオフィス納品事例

5. 広告宣伝

地方拠点(札幌・名古屋・大阪・福岡)におけるテレビスポットCM、ラジオCM、新聞広告の実施(10月頃を予定)
⇒ 特に地方における知名度の向上、店舗の認知度向上による売上増を図る

2004年度(今期)経営戦略

6.(株)CIXM(製造工場)の効率化

張地の自動裁断機の新規導入・・・CADデータの集積等一定の時間が必要
高圧モールドマシン(ウレタン発泡マシン)の新規導入による生産効率の向上



(株)CIXM外観



モールドマシン

モールド発泡ウレタン



原液の混合



1～2分後



化学変化により発泡



モールドウレタン

7.(株)トライアス(インポートファッション事業)

家具とのシナジー効果が十分に発揮されておらず、当社が保有する株式の大半を三井物産(株)等へ譲渡し、連結対象より除外。

所有割合 60% 20%

2005年12月までに、残りの20%分についても同社へ譲渡予定

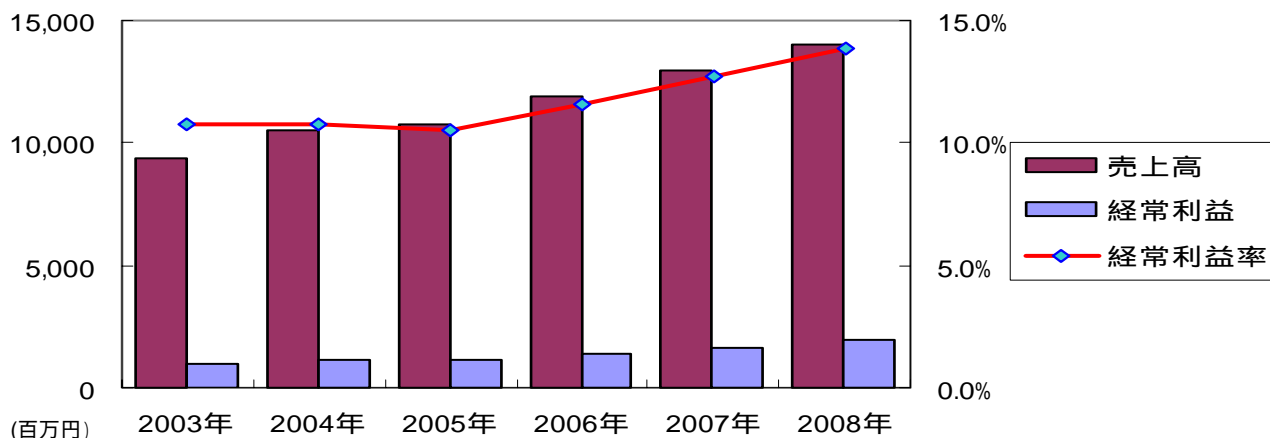
2004年度(今期)予算及び中期的な成長イメージ

(百万円)

【連結】	2004年12月期(予想)		2003年12月期(実績)		伸率(%)
		構成比(%)		構成比(%)	
売上高	10,084	100.0	9,351	100.0	+7.8%
営業利益	1,140	11.3	1,060	11.3	+7.5%
経常利益	1,126	11.2	1,005	10.7	+12.0%
当期純利益	740	7.3	573	6.1	+29.1%

【単体】	2004年12月期(予想)		2003年12月期(実績)		伸率(%)
		構成比(%)		構成比(%)	
売上高	9,644	100.0	8,790	100.0	+9.7%
営業利益	1,048	10.9	987	11.2	+6.2%
経常利益	1,045	10.8	937	10.7	+11.5%
当期純利益	690	7.2	537	6.1	+28.5%

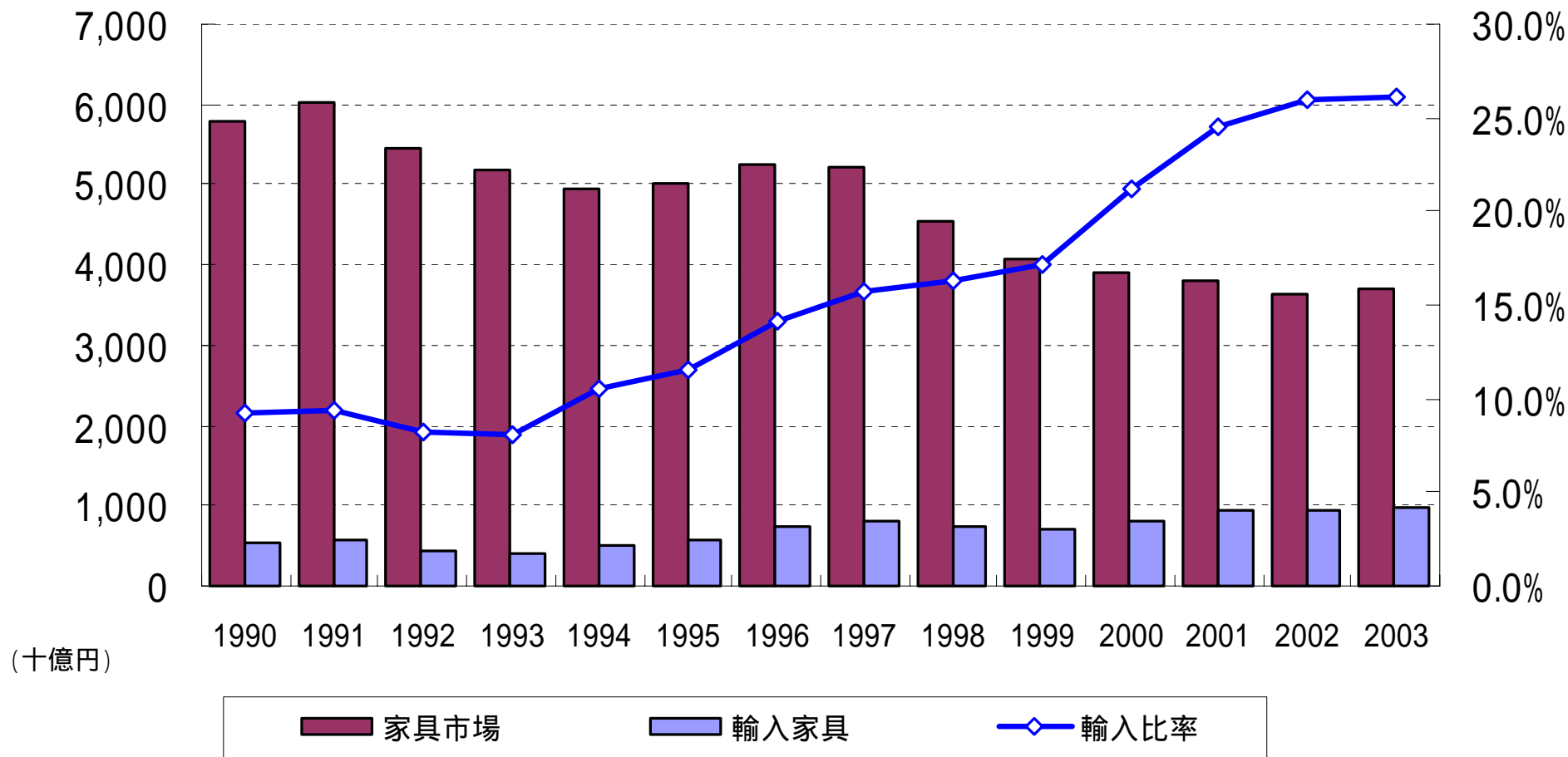
今後の成長イメージ



中期的課題

1. 新商品開発のスピード化
2. 人材の確保
3. 家具周辺分野商材の充実
4. 基幹システム更新による効率化

ご参考資料



出典：(株)アイク・家具経済研究所「2001日本の家具市場動向と有力家具販売前線企業の経営分析調査」
旬刊 家具と生活装備の専門紙「ホームリビング」2004年1月5日、3月5日号

貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書の概要(連結)

【貸借対照表】

	2004年中間期	2003年12月期	増減	備考
流動資産	5,021	5,043	22	商品在庫+132 現預金+247 為替予約 231 売上増見込による在庫増加
固定資産	3,018	2,814	+204	建物+113 差入保証金+152(青山本店)
資産合計	8,039	7,857	+182	
流動負債	2,753	2,853	100	買掛金 86 短期借入 30 未払金+75 法人税+116 繰延ヘッジ 231 賞与引当金+24
固定負債	1,737	1,872	135	長期借入 150役員退職慰労引当金+10
負債合計	4,490	4,725	235	
少数株主持分	5	12	7	
資本金	382	382	-	
資本準備金	422	422	-	
利益剰余金	2,738	2,314	+425	当期純利益の増加
資本合計	3,543	3,118	+425	

【キャッシュ・フロー計算書】

	2004年中間	2003年12月期	増減	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	845	906	61	当期純利益半期分 売掛債権の減少 受取保険料
投資活動によるキャッシュ・フロー	357	410	53	青山本店建物
財務活動によるキャッシュ・フロー	239	241	2	借入金返済 配当金支払
現金等増減額	247	254	7	
現金等期末残高	1,762	1,515	247	

主要財務指標(単体)

経営指標	2004年中間	2003年12月期	2003年中間
売上高営業利益率	13.2%	11.2%	11.7%
売上高経常利益率	13.1%	10.7%	11.3%
総資本経常利益率	8.4%	13.6%	7.5%
自己資本当期純利益率	14.6%	21.8%	13.7%
総資産当期純利益率	6.3%	7.3%	4.0%
自己資本比率	46.2%	40.9%	31.3%
金融費用負担率	2.8%	4.2%	4.1%
一株当たり純利益(円銭)	3,518.64	4,315.15	2,384.30
一株当たり純資産(円銭)	25,660.38	22,541.74	18,543.12
発行済株式数	133,340株	133,340株	118,420株
流動比率	194.7%	182.3%	147.4%
固定比率	85.9%	90.1%	123.5%
固定長期適合率	57.5%	56.4%	66.2%
借入金比率	23.5%	25.4%	30.6%
総資本回転期間(ヶ月)	1.56	0.78	1.50
売掛債権回転期間(ヶ月)	1.34	1.60	1.59
製商品回転期間(ヶ月)	3.79	3.88	2.82
買掛債務回転期間(ヶ月)	1.72	2.49	2.26

印は、中間時算出にあたり期間按分等の補正を行っている項目
 平成16年8月20日をもって1:3の株式分割を行いました。一株当たり情報及び発行済株式数は株式分割前の数値で記載しております。

2004年 中間期末株主構成

株主区分	株主数（名）	株式数（株）	持株比率
信託銀行	9	13,510	10.1%
その他法人	30	63,756	47.8%
外国法人等	9	19,190	14.4%
個人・その他	847	36,884	27.7%
自己株	-	-	-
合計	895	133,340	100.0%

大株主上位10名

	株主名	株式数	比率
1	(株)ユニマツト ホールディング	45,448	34.1%
2	(株)ユニマツト オフィスコ	17,248	12.9%
3	カッシーナエスピーエイ	16,000	12.0%
4	武藤重遠	10,090	7.6%
5	高橋洋二	6,904	5.2%

	株主名	株式数	比率
6	日本トラスティサービス信託銀行(株)信託口	4,530	3.4%
7	日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	4,510	3.4%
8	高橋章恵	2,760	2.1%
9	日興シティ信託銀行(株)信託口	2,330	1.7%
10	社員持株会	2,070	1.6%

平成16年8月20日をもって1:3の株式分割を行いました。株式数は株式分割前の数値で記載しております。

株式会社カッシーナ・イクスシー

本社住所 東京都渋谷区恵比寿南2 - 20 - 7

従業員数(平成16年6月末現在在籍人数)

連結 350名(うち契約社員148名)

単体 256名(うち契約社員 95名)



本社ビル

お問い合わせ先

社長室 マネージャー

亀井 陽一郎

: 03 5725 4171

URL: http://www.cassina_ixc.jp